



SURUGADAI
UNIVERSITY

駿河台大学 NEWS

発行

駿河台大学経営企画室

〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698 TEL.(042)972-1135
E-mail:sogokikaku@surugadai.ac.jp

2020年9月10日 No.222

駿大生のリアルな声 //

オンライン授業を受講して

本学では、新型コロナウイルス感染拡大による、感染防止の観点から学生の安全を最優先に考え、春学期の間、オンラインを用いて授業を実施してきました。全学的なオンライン授業は本学としても初の試みとなりました。今回は、オンライン授業を受講してみてもの感想を学生の皆さんに伺いましたので、ご紹介します。

6面では、留学生の皆さんの感想を掲載しています。そちらもぜひご覧ください。



経済経営学部4年 滝沢 奈望
埼玉県立川越西高校出身

オンライン授業は慣れていないこともあり、やはり最初は戸惑いました。自宅のネット環境も良くな

く上手く使えるのか不安で、わからないことがあってもその場で先生や友人に質問ができない環境というのはもどかしさを感じました。しかし、そのぶん先生とのメールでの連絡が増えたのでメールを書くことに慣れ、これは就職活動にも役に立ちました。Wordでの課題提出も多く、タイピング練習にもなり今まで知らなかったWordの機能を発見することで、パソコンの技術も向上したと思います。

また、私はコンピューター・リテラシーのSAとして活動しています。オンラインで受講している新入生がわからないことを相談できる質問掲示板があるのですが、顔の知らない先輩に質問することに戸惑いがあるのか、初めはなかなか質問がなくオンライン授業の難しさを感じました。しかし、このようなオンラインでの質問掲示板などがたくさん利用されるようになれば文章を書く力もつき、学部学年問わず交流ができると思いました。

オンライン就活体験記

会社説明会や面接選考にオンラインを利用しました。会社説明会は30分～1時間の動画をダウンロードして視聴する形式で、Zoomによる面接を行ったので自宅にWi-Fiが無いと通信費がかかり、背景や光の当たり具合、端末の充電など気をつけることも多かったです。一方、対面での就職活動と比べると交通費がかからなかったり、スケジュール管理がしやすかったりと利点も多くありました。しかし、実際に企業に足を運んで企業や社員の方の雰囲気を感じることはできないので、企業選択には苦労しました。

メディア情報学部3年 中野 大輔
東京都立拝島高校出身



初めてのオンライン授業を受けてみて感じたことは、ほとんどの授業にその回で使用する資料や動画が添付されているため、その回は何を学習しどのような課題を解くのかといったことが明確で良かったということです。また、リアルタイム配信で行う授業を経験したことでこれからのオンライン就活やオンライン面接の部分で活かせそうだと思いました。逆に苦労したことは、わからないことを質問するためにメールを送信してもすぐには返信メールが来なかったりと、対面授業と比べ若干時差が生じることに苦労しました。

心理学部2年 笠原 ゆきね
長野県岡谷東高校出身



私は今回のオンライン授業で、初めて使う機能やシステム、慣れないパソコン操作にとっても苦労しました。その反面オンライン授業を受けてみると、自分の好きな場所で授業を受けられるのでいつもより集中することができました。さらに、受講時間が自由な科目もあり、そのぶん予習や復習などに時間を有効活用することができて良かったです。私はこの期間で、勉強にとどまらず興味を持ったことに積極的に触れることができたので、今まで自分になかった知識を得ることができました。

情報処理教育センター
内田 いづみ 講師
太田 康友 助教より

春学期は対面授業が実施されず、がっかりした人も多いかもしれません。しかし、オンライン授業には対面授業にはないメリットもあります。例えば、オンライン授業なら自分のペースで勉強することができます。これは大きなメリットです。学習に必要な時間は一人ひとり違います。オンライン授業なら教材を繰り返し閲覧したり、自分で調べたりしながら、じっくり勉強をすることができます。ここで自学自習の習慣を身につけておくと、将来必ず役立ちます。また、オンライン授業はICTのスキルを高めるいい機会でもあります。ICTのスキルは社会人の必須能力です。パソコンを持っていない人はこれを機に購入して、スキルアップをしてみてもいいかもしれません。

2020年度 「特待生」「学生表彰生(学部長賞)」が決まりました

特待生

1級・2級特待生は、学業成績及び人物が特に優れている学生、スポーツ年間特待生は、前年度のスポーツ競技成績及び人物が特に優れている学生に対し奨学金を給付する制度です。

特待生に認定された皆さん、おめでとうございます。さらなる飛躍を期待しています。逃した学生は次年度受賞に向けて邁進してください。

学部	学年	氏 名	種別	出身高校名	学年	氏 名	種別	出身高校名
法学部	4年	オギタ アマネ 荻田 周音	1級	静岡県立裾野高校	3年	トクタク ミナ 徳武 ミ奈	2級	新潟県立長岡向陵高校
	4年	アオキ タクト 青木 択斗	2級	浦和学院高校	2年	サトウ マサユキ 佐藤 正幸	2級	クラーク記念国際高校
	3年	キミシマ タクミ 君島 拓海	1級	聖望学園高校	2年	サノ アオイ 佐野 葵	1級	静岡県立富士宮西高校
経済経済学部	4年	スズキ ソウタ 鈴木 蒼太	2級	東京都立杉並工業高校	2年	スダ リュウキ 須田 竜生	1級	秋田県立横手清陵学院高校
	4年	モリタ ノゾム 森田 望夢	1級	高知県立高知南高校	2年	ヒガ キョウカ 比嘉 清香	1級	沖縄県立浦添高校
	3年	キユナ レイナ 喜友名 伶奈	2級	沖縄県立コザ高校	2年	キタガミ ユウタ 北上 勇太	1級	新潟県立長岡大手高校
	3年	フジモト スナオ 藤本 侃	1級	正智深谷高校	2年	オウ チュウロウ WANG ZHONGLONG	1級	留学生・中国
メディア情報学部	4年	イトウ マコト 伊藤 実	2級	東京都立富士森高校	3年	タキザワ ナオ 滝澤 奈桜	1級	埼玉県立所沢西高校
	4年	カワバタ マイカ 川端 茉衣夏	1級	埼玉県立所沢西高校	2年	イクイ チハル 生井 千晴	2級	埼玉県立久喜高校
	3年	キタツメ コノカ 北爪 好香	2級	群馬県立伊勢崎高校	2年	ネギシ サクラ 根岸 桜	1級	埼玉県立寄居城北高校
現代文化学部	4年	ウスダ ミズキ 薄田 瑞希	1級	金蘭会高校	3年	オクラ アオイ 小倉 碧	2級	埼玉県立大宮中央高校
	4年	ウツノミヤ シオリ 宇都宮 栞	スポーツ	愛媛県立野村高校	3年	コシミズ ユウスケ 小清水 悠介	スポーツ	桜丘高校
	4年	ナミオカ カンナ 浪岡 栞奈	2級	青森県立三沢高校	3年	ムラタ ケンタロウ 村田 健太郎	1級	山梨県立山梨高校
	4年	マチダ ミキ 町田 未来	スポーツ	栃木県立今市高校	2年	カンノ ヒロト 菅野 宙斗	1級	豊南高校
	4年	ヨシダ カスミ 吉田 佳純	スポーツ	岐阜県立岐阜商業高校	2年	マエザワ アスカ 前澤 明日香	2級	埼玉県立朝霞西高校
心理学部	4年	イシカワ ダイスケ 石川 大輔	2級	沖縄県立前原高校	3年	コジマ カケル 小島 駆	2級	山梨県立北杜高校
	4年	ハシモト カナ 橋本 佳奈	1級	尚志高校	2年	スズキ フウカ 鈴木 風花	1級	東京都立石神井高校
	3年	セキモト モモカ 関本 李佳	1級	長野県野沢北高校	2年	ヒロセ ラナ 廣瀬 良菜	1級	埼玉県立秩父高校

1級特待生受賞コメント

メディア情報学部3年 滝澤 奈桜

この度は、特待生に認定していただいたことをとても嬉しく感じています。

一年前からこの賞を目指し、「当たり前のことを確実にこなす」と決めて勉学に励みました。その結果が出たと感じています。そしてこの賞は私に自信を与えてくれました。これからは「努力は必ず報われる」という言葉を信じて頑張っていこうと思います。



スポーツ年間特待生受賞コメント

現代文化学部4年 吉田 佳純 (陸上競技部 所属)

今年度も引き続き、スポーツ年間特待生に認定していただきました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、思うように部活動はできませんが、できる範囲で最大限努力をし、結果を出していきたいと思います。さらには、来年に控える東京オリンピックに少しでも近づけるよう、強化していきたいです。集大成として、大きく飛躍することで部活動だけでなく、大学全体に良い影響が与えられるようにしていきます。



学生表彰生（学部長賞）

学業において優秀な成績を挙げた学生、または部活動やボランティア活動などの課外活動において顕著な活動を行った以下の学生が表彰されました。

学部	学年	氏 名	出身高校名	学年	氏 名	出身高校名
法学部	4年	シ ミズ ソウイチロウ 清 水 総一郎	埼玉県立熊谷西高校	3年	サ カ イ ケイスケ 酒 井 恵 佑	新潟県立小千谷高校
	4年	セキ カ ナ 関 和 香 奈	栃木県立高根沢高校	3年	モ ロ イ アユミ 諸 井 歩	埼玉県立入間向陽高校
	4年	ミヤ シ タ ハル ミ 宮 下 晴 美	埼玉県立川口北高校	3年	ヤマ グ チ ダイ キ 山 口 大 貴	山梨県立都留興譲館高校
	4年	イ ケ シ オ ン 池 田 詞 音	埼玉県立小川高校	2年	ウ エ チ ヒョウガ 上 地 彪 雅	沖縄県立那覇西高校
	4年	オ オ モ リ ユウ ス ケ 大 森 裕 介	埼玉県立狭山経済高校	2年	ハ シ モ ト ユウ キ 橋 本 裕 輝	新潟県立新潟江南高校
	3年	イ ワ シ マ ツバサ 岩 嶋 翼	関根学園高校	2年	マ エ ダ ソノ ミ 前 田 苑 美	埼玉県立寄居城北高校
経済経営学部	4年	カ ヤ カ ス セ 香 谷 一 瀬	埼玉県立川越高校	3年	カ ト ウ ノ ソ ミ 加 藤 希 美	青森県立八戸東高校
	4年	ハ マ ナ カイ 濱 名 凱	本庄第一高校	3年	タ ク ヤ タクヤ 高 橋 拓 也	長野県北部高校
	4年	ミヤ デ ラ ユウ キ 宮 寺 優 輝	東海大学菅生高校	3年	タ デ オ カ トモヒロ 楠 岡 友 広	群馬県立高崎商業高校
	4年	タ キ ザ ワ ナ ミ 滝 沢 奈 望	埼玉県立川越西高校	3年	ナ カ ジ マ カン タ 中 島 勘 太	屋久島おおぞら高校
	4年	タ テ ヤ マ ナ ユ キ 館 山 祐 希	埼玉県立所沢高校	2年	シ モ ヤ マ ナ ユ 下 山 菜 友	東京都立稔ヶ丘高校
	3年	イ イ ザ ワ ユウ キ 飯 澤 勇 希	東京都立光丘高校	2年	ミ ス タ ニ ア ス ミ 水 谷 明日美	東京都立清瀬高校
メディア情報学部	4年	クリバヤシ ユ イ 栗 林 由 依	日々輝学園高校	3年	ミ ヤ キ タ ケ ト 宮 城 壮 都	沖縄県立読谷高校
	4年	ツ カ ダ ヒ ナ コ 塚 田 日 奈 子	長野県屋代南高校	3年	ミ ヤ ザ キ ソ ラ 宮 崎 大 空	高崎商科大学附属高校
	4年	ワケ 直 マ ナ カ 亘 愛 華	埼玉県立狭山緑陽高校	2年	ヨ シ ア キ ヨシ 中 村 亮 輝	埼玉栄高校
	4年	タ マ ガ ワ ヒ ロ ミ 玉 川 大 海	東京農業大学第三高校	2年	ニ シ ム ラ ユウサク 西 村 優 作	仙台市立仙台高校
	3年	イ ザ ワ ミ キ 伊 澤 美 紀	栃木県立小山城南高校	2年	フ ジ ハ ラ アキカツ 藤 原 章 克	日々輝学園高校
	3年	クリシマ ユ カ 栗 嶋 友 華	埼玉県立坂戸高校	2年	フ ル ヤ ア カ リ 古 谷 明 李	神奈川県立上溝南高校
現代文化学部	4年	アリトメ ショウマ 有 留 翔 馬	東京都立小平西高校	4年	ヨ コ オ サヤカ 横 尾 沙 弥 花	高崎健康福祉大学高崎高校
	4年	イ シ イ ハヤテ 石 井 颯	上野学園高校	4年	ワ タ ナ ベ ユウ ト 渡 辺 悠 斗	東海大学付属第三高校(現:東海大学付属諏訪高校)
	4年	オ オ ツ カ ユ キ 大 塚 由 樹	埼玉県立桶川高校	4年	ワ ニ シ レ オ 和 西 玲 旺	船橋市立船橋高校
	4年	カ ト ウ ヒナタ 加 藤 ひなた	福島県立あさか開成高校	4年	キ ヨ ダ ユウダイ 許 田 雄 大	沖縄県立名護高校
	4年	サ ト ショウゴ 佐 藤 匠 悟	埼玉県立鴻巣高校	3年	セ キ ガ ウ ユウ ヤ 関 川 湧 也	新潟産業大学附属高校
	4年	サ ト モ リ ト 佐 藤 杜 登	秋田市立秋田商業高校	3年	ツ カ ノ リュウ 塚 野 龍	北越高校
	4年	シ マ ノ ユウ ナ 嶋 野 優 奈	日本体育大学柏高校	3年	ア キ タ ヨ シ ト 秋 田 慶 人	静岡県立静岡西高校
	4年	タ キ ワ キ カイ 滝 脇 一 輝	長野県田川高校	2年	ト イ ズ ミ ダイ キ 豊 泉 大 輝	東京都立昭和高校
	4年	タ ケ ウ チ カイ ヤ 竹 内 海 椰	東京都立足立高校	2年	ナ ス イ ブ 那 須 美 楓 季	埼玉県立草加東高校
	4年	ナ カ ム ラ タ マ コ 中 村 珠 子	八王子実践高校	2年	マ ツ ダ シュウマ 松 田 周 磨	群馬県立伊勢崎高校
心理学部	4年	エ ガ ワ ダイ キ 江 川 大 稀	新潟県立阿賀黎明高校	3年	ス ズ キ ア ヤ セ 鈴 木 彩 紗	青森県立八戸商業高校
	4年	オ 小 タ モエ 小 田 萌	東京都立桜町高校	3年	ス ズ キ ア ヤ ナ 鈴 木 綾 菜	福島県立磐城高校
	4年	マ ツ モ ト ショウ 松 本 捷	埼玉県立松山高校	2年	オ ニ キ マルセラ 鬼 木 マルセラ	埼玉県立狭山緑陽高校
	4年	マ ト ユウ ト 的 場 佑 斗	東京都立秋留台高校	2年	サ ク ラ イ ア ヤ ノ 櫻 井 彩 乃	埼玉県立本庄高校
	4年	ミ タ レイ ナ 三 田 麗 奈	駿台甲府高校	2年	サ サ キ ミ オ 佐 々 木 美 緒	穀明高校
	4年	ワ タ ナ ベ ア ヤ カ 渡 邊 絢 加	クラーク記念国際高校	2年	タ ケ イ ユウ 武 井 由 希	帯広大谷高校
	3年	クサマキ トモ 草 牧 知 樹	茨城県立土浦第一高校			

学生表彰生(学部長賞)受賞コメント

現代文化学部4年 加藤 ひなた

この度は、学部長賞に選出いただき、誠にありがとうございます。私たち平井ゼミでの活動を、全国エコツーリズム学生シンポジウムで発表させていただきました。実際に発表して、他大学に本学のアピールができました。今回受賞できたのも、周りの方々の協力や支えがあったからだと思っています。これからも感謝の心を忘れずに、謙虚に精進していきたいです。



左から、大塚さん、横尾さん、加藤さん、中村さん

卒業生による

「キャリア応援メッセージ大公開!」 動画配信中!

キャリアセンターでは7月23日(木)より、「卒業生によるキャリア応援メッセージ大公開!」と題して、本学卒業生から後輩たちに向けたキャリア応援メッセージ動画を学生キャビネットより配信しています。キャリアセンター職員によるインタビュー形式で「社会人になって得られたこと」「就職活動を終えて重要だと思ったこと」「もし大学生に戻ったとしたらやっておきたいこと」「今できる社会人になるための準備」など、卒業生の“思い”を伺いました。社会で活躍する本学卒業生の経験談やアドバイスを聞くことで、「これからに向けて今何をすべきか?」など、就職活動やこれからの学生生活を送る上でヒントになる情報をたくさん得ることができました!

法学部 出身



2013年度 卒業
塩野谷 祐貴 さん
【消防士】

大学3年生からの
1年間で人生を大きく
変えるタイミングです!



2016年度 卒業
蓬田 春希 さん
【新聞記者】

学生の“今”だからできる
ことをして手持ちの
“カード”を増やそう!

経済経営学部(旧経済学部) 出身



2015年度 卒業
島村 雅之 さん
【営業(商社)】

積極的に行動していこう!
コツコツ努力を
重ねることが大事!



2016年度 卒業
時田 杏子 さん
【営業(保険)】

就活を乗り越えれば
楽しい社会人生活が
待っています!

メディア情報学部 出身



2013年度 卒業
豊田 尚 さん
【販売(アパレル)】

先延ばしにせず、興味を
持ったことはどんどん
チャレンジしていきましょう。



2015年度 卒業
佐藤 真里恵 さん
【報道ディレクター】

自分の好きなことを
突き詰めよう!きっとそれが
“武器”になるはず!

現代文化学部 出身



2017年度 卒業
小田桐 拓未 さん
【営業(ブライダル)】

就活では第一印象が
大切です。「明るく・元気」な
自分で臨もう!

9月30日(水)まで
視聴可能

ポタロウ
「学生キャビネット」
より配信中!



キャリアセンターキャラクター
A太くん

心理学部 出身



2013年度 卒業
田中 浩平 さん
【測量士補助】

やりたいこと・好きなことを
追求できる今の時期を
大切にしよう!



2016年度 卒業
倉嶋 真美 さん
【販売(化粧品)】

就活は「自己分析」が
1番大事!第一志望に固執せず
視野を広く!

動画を視聴した在学生からのコメント



法学部3年
多ヶ谷 美生 さん
(獨協埼玉高校出身)

人と話すこと、伝える・書くという仕事に興味があったのですが、実際にどんな仕事があるのかぼんやりとしか想像ができていませんでした。先輩方の話を聞き、就職活動の幅が広がりました。また、先輩方が笑顔で仕事のお話をしてくださっている姿を見て、仕事に誇りを持っているのだと感じました。自分も誇りを持てる仕事に就けるよう、しっかりと仕事を見つけていきたいと思います。



法学部3年
稲垣 拳史郎 さん
(大智学園高校出身)

「大学時代の活動の中でヒントが見つかるので、能動的に動いてほしい」とのお話を聞き、自分も大学生活を悔いのないように送り、自分の進路についても視野を広く持って行動していきたいと感じました。

心理学部3年
坂本 脩斗 さん(松商学園高校出身)

「社会人になると学生時代と比べて忙しくなるので、時間がある大学生のうちにやりたいことをやっておいたほうが良い」という話を聞き、時間を有効活用し、前々からやろうと思っていた資格の勉強や英語の勉強を始めてみたいと思いました。また、仕事に対する姿勢について、社会人になると責任感をもつことが重要であり、お金をいただく以上は、1つ1つの仕事に責任をもって取り組んでいきたいと思いました。

メディアセンターより from the Media Center

メディアセンター 入退館ゲートが変わりました

セキュリティ対策向上を図るためメディアセンターの入退館ゲートを更新しました。以前よりタッチがしやすく、スタイリッシュなデザインになりました。

また入館時だけでなく、退館時にもゲートで学生証をタッチする仕様となり、各学生のメディアセンター滞在時間を分析することが可能となります。収集したデータを基に、メディアセンターのサービス向上につなげて参ります。

なお、秋学期も一部の授業で引き続きオンライン授業が継続します。メディアセンターでは、感染症対策をした上で備え付けのPCを140台準備しておりますが、パソコン台数以上の利用者が予想されます。より衛生的で使い慣れた自分のノートPCを持参してください。Wi-Fi環境と電源を確保してお待ちしています。



※イメージ

母国からオンライン授業を受けてみて 留学生からの報告

新型コロナウイルスの感染防止のため、本学でもオンライン授業が導入されました。本学に在籍する留学生の中には、一時帰国中の母国からオンライン授業を受けている学生もいます。そのような留学生に、現地の様子やオンライン授業の感想などを聞いてみましたのでご紹介します。(取材時期:8月上旬)

グエン・ホアン・ビエット

経済経営学部2年 NGUYEN HOANG VIET <ベトナム出身>

他の多くの国と同様に、ベトナムでも新型コロナウイルス感染症が今年初めに発生しました。当時、日本の方がベトナムより感染者数や国内状況が深刻なようだったので、両親は非常に心配し、感染を避けるために1か月ぐらい帰国して欲しいと言ってきました。自分の安全のためやその時のベトナムの状況に基づいて、私は一旦母国に帰ることにしました。しかし、越境の国境を閉鎖する方針が決まり、私は予定どおり日本に戻ることができなくなったため、ベトナムに留まり、オンラインで大学の授業を受けることになりました。

初めてのオンライン授業なので、不安や心配が大きかったのですが、先生たちの指導・サポートのおかげで、すべてがスムーズに進みました。4月下旬以来、ベトナムでのコロナウイルスの流行は完全に制御され、コロナウイルスで死者もいませんでした。しかし、最近ではベトナムの市中で感染流行が発生しています。その原因として、7月にお金のために、ある個人や組織がベトナムに不法入国の人々を連れてきたからだ、という受け止めが広がっています。

今、私は感染についてかなり心配していますが、今度の期末試験でいい成績を取れるように、頭をすっきりさせる必要があります。初めてのオンライン授業なので、たまにインターネットの接続の問題が起こったり、大学に行けないので落ち込んだりすることもありました。ベトナムや日本だけではなく世界全体の感染状況が複雑なので、秋学期に大学ですべてを対面授業にすることは不可能だと思います。コロナウイルスのパンデミックが早く終わって、先生や友達に会いに大学に行けることを願っています。



オウ・ギョウライ

経済経営学部4年 WANG XIAO LEI <中国出身>

私が今住んでいるところは、中国の遼寧省大連市(りょうねいしやう だいいれんし)です。現在のコロナウイルス感染状況はまだひどいと思います。先日、税関で南米から輸入したエビにウイルスが検出されたと報道がありました。1つのエビの中から6つのウイルスが検出されました。また海産物会社の社員からもウイルスが検出されました。輸入した海産物がウイルスの元だったかもしれません。ローカルウイルスの再爆発の可能性もあります。8月7日までに、大連市では累計110人の感染が確認され、23人が治癒し、87人が治療中です。80の団地を封鎖しました。

コロナウイルスのことで考えたことは、中国と日本は政治環境が違います。中国は一党制で、日本は多党制です。で、コロナウイルスの対応においては中国の方が日本より順調です。例えば、団地を強制的に封鎖して住人を外に出させないという対応でも、中国ではうまくいきますが、日本では抗議が起きるかもしれません。強制は不合理ですが、人と人との接触を減らすため、コロナウイルスの対応では一番いい方法だと思います。

日本にまだ帰れないかもしれません。家族が心配しています。私は大学4年生になりました。オンライン授業については、対面型より便利だと思っています。先生はスライドで授業をするので、何か分からないことがあったら、授業が終わった後に、もう一度見直すこともできます。何もしないまま、春学期が終わってしまったような気がします。コロナウイルスが収まれば、秋学期に日本に帰ります。



シン・ジフン

心理学部1年 SHIN JIHOON <韓国出身>

犯罪心理学を学びたかった私は、駿河台大学への進学が第一希望でした。合格通知を受け取ったあと、日本でアパートの契約も済ませ、入学を楽しみにしていました。しかし、韓国では2月頃から、日本でも3月頃から新型コロナウイルスが広がり、ついに入国規制がかかって、日本へ行くことができなくなりました。覚悟していたとはいえ、その事実と直面した時はショックでした。特に、契約したアパートをどうするか悩みましたが、結局解約することになりました。

ただ、授業はオンラインで行われると聞いて、安心しました。インターネット環境は問題なくアクセスできましたが、国際郵便がストップしてしまったので、教科書を日本から取り寄せることができませんでした。「日本語」授業の教科書は韓国でも入手できましたが、それ以外の専門・教養科目の教科書は、今でも入手することができていません。

しかし、ほとんどの授業で、先生方が資料をオンライン上でアップロードしてくださったので、支障なく授業を受けることができました。本当は教科書があったほうが理解が深まるのかもしれませんが、入学したばかりの私は、教科書を使って大学の授業を受けたことがないので、比較のしようもありません。

突然オンライン授業になり、自分の理解度を客観的に把握することができないことがもどかしいのですが、それ以外は普通に授業を受けることができています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日本でも2月下旬から、外国人の入国を一時的に拒否する水際対策が取られるようになりました。感染地域が世界中に広がるに当たって、入国拒否の対象国・地域が広がり、春休みを利用して一時帰国中だった本学の留学生にも影響が出ました。また、日本での生活に不安を訴える留学生も出始め、母国へ一時避難した留学生もいました。グローバル教育課で確認したところ、春学期中に、全学部・全学年を合わせて36人の留学生が、母国でオンライン授業を受けました。

国によっては、Gmailやポタロウの閲覧ができず、大学からの情報を受け取るのが困難な留学生もいました。また、国際郵便にも遅延や引受停止などの措置があったため、教科書を日本から取り寄せられない、という留学生もいました。

7月下旬より徐々に再入国が認められるようになっており、8月中旬から下旬にかけて、留学生も徐々に日本に戻り始めている状況です。

試合などの最新情報は
各団体のSNSでチェック!

スポーツ強化指定団体 主将インタビュー

秋シーズンに向けての
抱負などを各団体の主将に聞きました。
今号と次号の2回に分けてお届けします。
(取材時期:7月上旬)

陸上競技部

主将

現代文化学部 4年

テラキ

シンイチロウ

寺木 慎一郎

福井県立敦賀高校出身



私たち陸上競技部は、シーズンインを目前にすべての試合の予定がなくなってしまいました。さらに、チームでの練習も行うことができなくなってしまい、モチベーションを保つのに苦しい期間が続きました。しかし、自粛期間中にしっかりと自分自身と向き合う時間を作ることができ、部員一人ひとりが個々の課題や目標を明確にすることができました。また、できる限りの環境で練習をしたり、部員同士でリモートでのトレーニングをしたりと各々のモチベーションを保っていました。少しずつですが試合の予定も決まってきました。現在は試合に向けて一生懸命練習に励んでいます。今年度は部として過去最高の成績を残せるように頑張ります。

陸上競技部

女子主将

経済経営学部 4年

イケガヤ

サトミ

池谷 怜海

静岡県立駿河総合高校出身



陸上競技部女子は、関東インカレ総合入賞を目標にリレーを中心としたチームづくりで日々練習に取り組んでいました。しかし、関東インカレはコロナウイルスの影響を受け、予定されていた5月開催が中止となりました。部活動の自粛や試合の延期・中止が重なる中、限られた環境でしか練習をすることができずでしたが、部員の練習環境を把握し、再開される試合に向けてモチベーションが下がらないように声掛けを心掛け、常に部員に寄り添ってきました。現在では徐々に試合が再開され、9月には全日本インカレの開催が決定しています。数少ない試合ではありますが、目の前にある試合に向けて部員一同切磋琢磨しながら日々練習しています。応援よろしくお願いします。

駅伝部

主将

現代文化学部 4年

イシヤマ

ダイキ

石山 大輝

指宿市立指宿商業高校出身



今年度は、箱根駅伝予選会5位以内通過、箱根駅伝シード権獲得を目標に練習に取り組んでいます。コロナウイルスの影響で、前期の記録会や大会が全て中止になり、目標の一つとしていた全日本大学駅伝の予選会も無くなりました。大会がなくなることで、モチベーションが上がらないという選手もいましたが、チームの最大目標は箱根駅伝であるということを確認し合い、チーム全体でモチベーションを保つことができました。また、自粛期間で練習環境が限られていましたが、予防を徹底し、個々のトレーニングを連絡、共有して、それぞれが目的意識を持って練習に取り組むことで、良い練習が行えました。今年の予選会は、あくまで通過点であり、本戦でしっかりと戦うことが目標なので、その目標に向けてチームのレベルを上げていきます。

男子ホッケー部

主将

法学部 4年

イノウエ

ユウダイ

井上 優大

大分県立玖珠美山高校出身



男子ホッケー部としては、大学王座決定戦への出場、日本リーグH2上位入賞、インカレベスト4を主な目標にしています。コロナウイルスの影響により多くの試合が中止になってしまい、大学王座決定戦も行われませんでした。しかし日本リーグ、インカレは開催される可能性があるため、日々努力しています。もちろん全体での練習は行うことができないため、それぞれの家や寮でできる自主トレーニングを実施してきました。部員全員のモチベーションを保つために、週に一回自主トレーニングの内容を主将や監督に報告し、レスポンスをもらうなどの工夫をしてきました。もし、大会が開催されることがあれば秋以降に試合が集中し、過密日程になることも考えられるので、それに向けてコンディションを高めていきたいと思っています。

女子ホッケー部

主将

現代文化学部 4年

サトウ

ミズホ

佐藤 瑞帆

岩手県立不来方高校出身



私たち女子ホッケー部は、日本一・関東制覇を目標に掲げ、日々努力をしています。コロナウイルスの影響により、思うように活動はできていませんでしたが、一人ひとりが今できることを考え、自主的に体力向上、基礎技術の向上に取り組んでいました。また、オンラインを通じて、戦術の確認やチームワークの向上にも力を入れていました。部活動ができることがどれだけ恵まれていたか、再確認できる良い機会にもなりました。環境や支え、応援してくださる方々に感謝の気持ちを忘れることなく、目標に向け一人ひとりが主役となり、ONETEAMで駿大らしく粘り強いプレーで優勝めざして頑張ります。

硬式野球部

主将

現代文化学部 4年

オオシ

ヒロタカ

大西 洋大

聖光学院高校出身



昨年の入れ替え戦で勝つことができ、1部に昇格したので、リーグ戦に向け練習をしてきました。しかし、コロナウイルスの影響で春季リーグ戦は中止になってしまいました。また、全体での練習もできなかったため、個人での練習が3ヶ月も続きました。自粛期間中は野球部のトレーナーが考えたメニューを2週間おきに全体で共有し、体づくりに励みました。なかなかモチベーションを保つのは難しかったですが、この状況を全員で乗り越え、秋季リーグ戦に挑んでいきたいと思っています。我々野球部の秋季リーグ戦の目標としては、少しでも多く勝ち、来年も1部の舞台で戦えるように粘り強く戦っていくことです。応援よろしくお願いします。

♪ 大学院生にインタビュー ♪

駿河台大学大学院総合政策研究科と心理学研究科に通う院生に、大学生活について伺いました。

総合政策研究科 経済・経営学専攻

及川 瑞穂

大学院では、修士論文の執筆と並行して、授業の履修も行っています。一年次は主に、論文に使用する文献・資料の収集に時間をかけてきました。それに加えて、継続して語学学習にも力を入れています。先行している経済学の研究だけでなく、同時に、在学中に英語圏への留学も視野に入れて、大学院に入学したからです。

留学の準備や論文執筆も本格的に入り、少し忙しさが増しましたが、先生方や職員の方々に助けていただきながら充実した大学院での生活を送れていると感じています。



心理学研究科 犯罪心理学専攻

大橋 彩乃

大学院での生活は、思っていたよりも自由で、楽しく過ごしています。

昨年は、院生同士で誕生日にサプライズを行ったり、鍋パーティをしたりして、勉強だけでなく、私生活も充実しています。

本年度は、公務員試験を受験するため試験勉強に励む日が続いており、新型コロナウイルスの影響で大学には通えていませんが、大学院の友人とオンラインで勉強会や面接練習を行って交流をしています。卒業後は、少年院や少年鑑別所、児童自立支援施設等で家庭や環境に恵まれなかった子どもたちの支援を希望しています。



大学院入試日程《1期募集》

総合政策研究科

法学専攻、経済・経営学専攻、メディア情報学専攻

心理学研究科

臨床心理学専攻、犯罪心理学専攻

◆出願期間 9月8日(火)～9月23日(水)

◆試験日 10月3日(土)

◆合否発表日 10月14日(水)

◆入学手続期間 10月14日(水)～10月21日(水)

※教務課窓口取り扱い日については、本学ホームページ(<https://www.surugadai.ac.jp/>)に掲載されている学年暦をご確認ください。

※気象状況等の影響により、日程変更となる場合があります。その際は、試験日前日までに本学ホームページにて発表します。

※学内推薦入試の制度もありますので、詳細については教務課までお問い合わせください。

学部生へ教務課より お知らせ

2020年度教務関係日程(秋学期学年暦変更に伴う変更)

日程	時間	行事
9月12日(土)～9月17日(木)		健康診断
9月18日(金)～10月1日(木)		春学期授業 補講期間
9月21日(月)		補講実施日(祝日ですが、補講授業を行います)
9月22日(火)		補講実施日(祝日ですが、補講授業を行います)
10月2日(金)		秋学期授業開始・春学期終了科目成績発表
10月12日(月)～10月13日(火)		秋学期履修登録科目修正期間(9:00～17:00)
10月12日(月)		健康診断証明書発行開始
11月23日(月)		授業実施日(祝日ですが、通常授業を行います)
12月1日(火)	13:00	卒業関係日程発表(4年次生)
12月22日(火)		秋学期年内授業終了
12月26日(土)～1月3日(日)		大学休業日
1月4日(月)		秋学期年明授業開始
1月12日(火)		新年度当初の行事予定発表
1月14日(木)		秋学期授業終了
1月18日(月)～1月30日(土)		秋学期授業 補講期間

※学年暦及び詳細につきましては本学ホームページを確認してください。

※秋学期の日程について、新型コロナウイルスの感染状況等により変更する可能性があります。その際には本学ホームページやポータルサイト(ポタロウ)でお知らせします。

名誉教授の称号が授与されました

これまでの教育及び学術上の功績に敬意を表し、
名誉教授の称号が授与されました。
今年度、名誉教授の称号を授与された方々は次の2名です。

信岡 奈生 名誉教授(心理学部)
五味渕 久美子 名誉教授(心理学部)

両先生の変わらぬご活躍を心より祈念いたします。



信岡 奈生 名誉教授



五味渕 久美子 名誉教授